

# 取り扱い説明書

**DAYTONA**<sup>®</sup>

47445 /

\*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

\*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

## ハイカムシャフト

適応車種

A P E 5 0 / A P E 1 0 0

商品 NO.

4 7 4 4 5

この度はデイトナ「ハイカムシャフト」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。  
なお、万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

### 特徴

- A P E 5 0 + 品番 3 5 0 3 9 / 8 0 c c ボアアップキットとの組み合わせがお勧め。
- A P E 5 0 / 1 0 0 ノーマルヘッド対応、ボアアップキットとビックキャブキットとの組み合わせで性能を発揮。
- 専用バルブスプリング付属 (必ず同時装着して下さい)

### 商品内容

パーツ名	サイズ(mm)	数量	パーツ名	サイズ(mm)	数量
カムシャフト		1	バルブスプリング	インナー(小)	2
バルブスプリング	アウター(大)	2			

### 注意事項

- ・ 作業に入る前に、**必ず安全を確保した上で**作業を行って下さい。
- ・ この商品は、記載されている**適応車種以外の車輛には使用しないで下さい。**
- ・ 走行中にネジ部等が緩まないよう、**トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けて下さい。**
- ・ **取り付け後約 1 0 0 k m 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行って下さい。**その後は**約 5 0 0 k m 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行って下さい。**
- ・ 走行中に**異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検して下さい。**
- ・ **予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。**また、文中に御紹介した商品についても同様です。予め御了承下さい。
- ・ **ボルト、ナット、ノックピン、一部のパッキンは再使用します**ので、取り扱いには充分注意して万一傷等がついた場合は純正の新品と交換して下さい。
- ・ この商品を装着するにはエンジンの脱着と分解組み立て等必要なため、**別途・ホンダ純正マニュアルをご参照頂くか、専門技術を有したショップでの作業をお勧めします。**
- ・ 作業を行うときは、**必ず冷間時に行ってください。**【火傷を起こす原因となります。】
- ・ エンジンを始動し、確認する際は、**必ず換気の良い場所で行ってください。**【一酸化炭素中毒になる可能性があります。】
- ・ 当商品の**装着時、点検・整備を行った際に車体部品に欠損・損傷が合った場合はその部品の再利用を避け、新しい部品に交換してください。**【重大な事故を起こす可能性があります。】
- ・ 一般公道では、**道路交通法に則した法定速度に準じて運行を行ってください。**

### 商品装着に必要な工具 (参考です)

トルクレンチ (必需品)	バルブスプリングコンプレッサー (必需品)
シクネスゲージ (必需品)	シザーホルダー
タペットアジャストレンチ (9mmスパナ代用可能)	プラスチックハンマー
コンビネーションレンチ (8~17mm)	メガネレンチ (8~17mm)
ラチェットハンドル	ディープソケット (8mm)
ソケット (10・12・17mm)	+ ドライバー # 2
ラジオペンチ	スクレイパー
ウエス	レーシングスタンド
エンジンオイル (エンジン組付け時の潤滑用) 等が必要です。	- ドライバー小 針金又は、タイラップ ジャッキ・当て木

### タペット調整について、

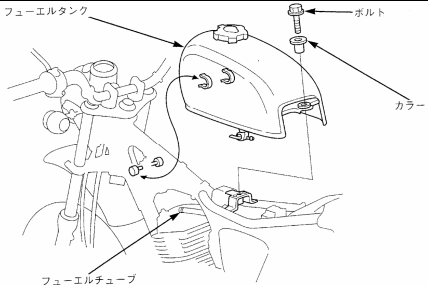
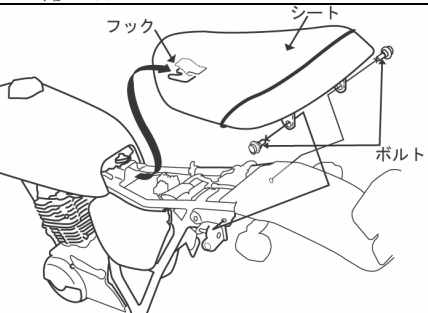
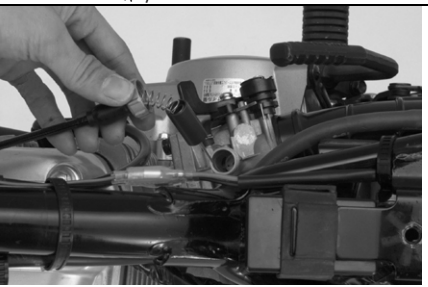

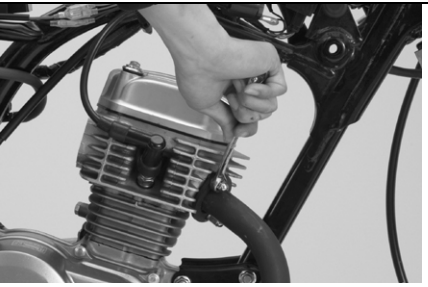

タペット調整は必ず行ってください、使用していてタペット音が大きい車両も隙間の点検と調整をして下さい。

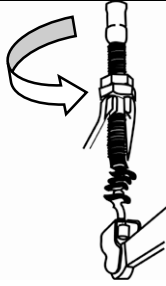
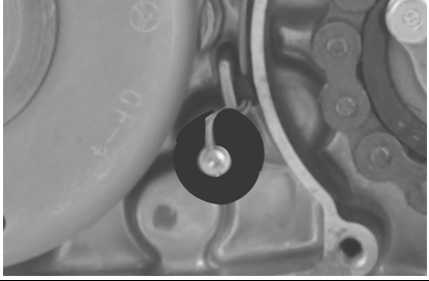

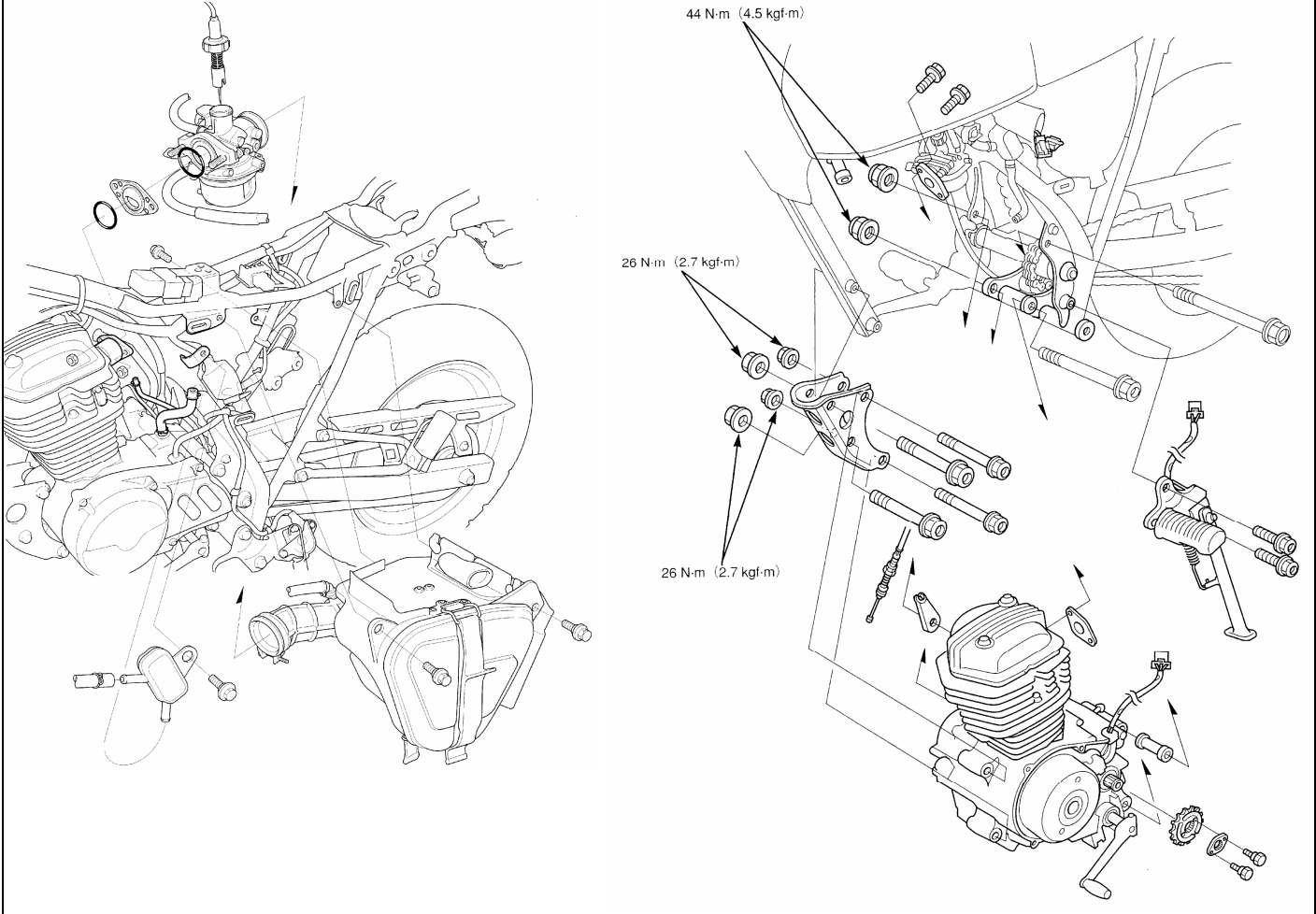
A P E 5 0	バルブクリアランス (タペット隙間)	I N / E X 共に 0 . 1 m m ± 0 . 0 2 (冷間時)
A P E 1 0 0	バルブクリアランス (タペット隙間)	I N / E X 共に 0 . 0 5 m m ± 0 . 0 2 (冷間時)

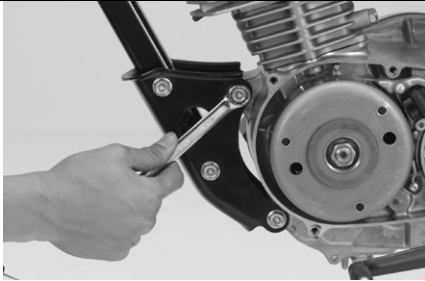
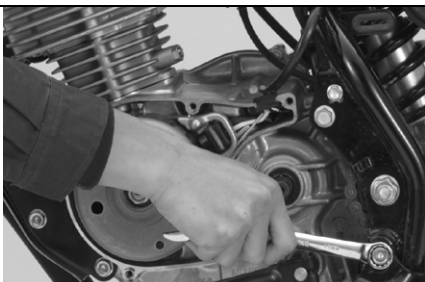
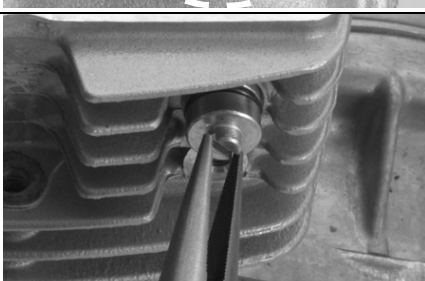
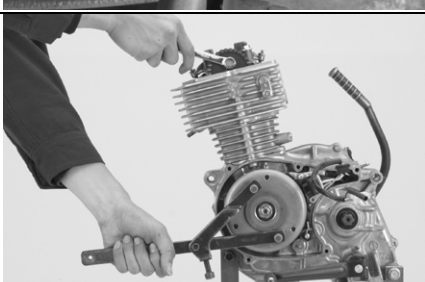

使用工具はシクネスゲージ、タペットアジャストレンチ等 (9mmスパナ代用可能)

## 取り付け手順

- \* A P E 5 0 への組み付け手順を中心に説明しますので A P E 1 0 0 の場合はこれを参考にして下さい。(ほぼ同じ内容)  
 作業はボアアップキットが組み込まれているエンジンに本商品を組み付ける工程を示します  
 同時に組み込みの再はそれぞれの説明書を行き来しますが、説明書を良く読み 作業を行ってください。  
 下記作業はエンジンを車体から降ろしての作業を示します。

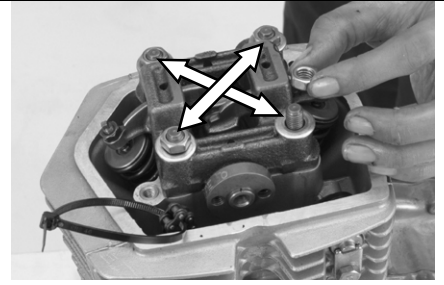
1	<p>作業に入る前に、フュ - エルコックをOFFにして下さい。          又、サイドスタンドを取り外しますので、レーシングスタンド等を使用し作業を行ってください。          ホースクリップを移動し、ガソリンホースを、フュ - エルコックより外してください。 外す際に、ガソリンが目等に入らないように注意してください。</p>	
2	<p>フレームサイドからシートを固定しているボルトを外し、シートを後方へ引っ張るようにし、純正シートを外してください。          ガソリンタンク固定ボルトを外し、タンクを後方に引き、タンクを車体から外して下さい。このとき、左右のサイドカバーも外してください。</p> <p><b>注意</b> 外したタンクから、ガソリンが流れないように、保管してください。</p>	
3	<p>キャブレタートップキャップを緩め、キャブレター本体からスロットルバルブ・アクセルワイヤーを取り出してください。</p> <p><b>注意</b> 取り外したスロットルバルブはワイヤーからは外さず、傷、ホコリが付着しないようにし、保管してください。</p>	
4	<p>+ドライバーで、ラバーマニホールドバンドを緩めてくださいマニホールド・エンジン側のボルト・2本を緩め、ヘッドからキャブレター・マニホールドを取り外してください。          ラバーマニホールドからキャブレター本体を外してください。  <b>注意</b>キャブレター内部にガソリンが残っている場合は、大変危険ですので、火災等に充分注意し、保管してください。</p>	
5	<p>シリンダーヘッドEX部に固定している六角ナットと、右ステップ後方のボルトを緩め、マフラーを外してください。その後、プラグキャップを外して下さい。  <b>注意</b>マフラー取り外しの際は、マフラー本体が充分冷えている事を確認し、火傷をしないよう作業を行ってください。</p>	
6	<p>車体左側・スプロケットカバーより出ている配線をたどり、カプラ - の結線を外してください。外すカプラ - は白色・緑色・黒色の3種類です。          左側スプロケットカバーを固定しているボルト・5本を緩め、カバーを外してください。  <b>注意</b>ガスケットが切れてしまった場合は、スクレイパー等できれいに取り去り、新品のガスケットを装着してください。</p>	

7	<p>右側クランクケース・クラッチケーブルホルダーのロックナットを緩め、クラッチケーブルをはずします。</p>	
8	<p>ニュートラルスイッチに装着してある樹脂製のスペーサーをはずし、保管してください。</p> <p>スプロケットを固定しているボルトを2本緩め、ストッパープレートを少しまわし、カウンターシャフトから取り外します。 このプレートを取り外し、フロントスプロケットを引き抜きます。</p>	
9	<p>サイドスタンドスイッチのハーネスを、車両のクランプから取り外してください。左ステップ・ホルダーをとめているナット2箇所緩め、ステップ・サイドスタンドを取り外してください。</p>	
		

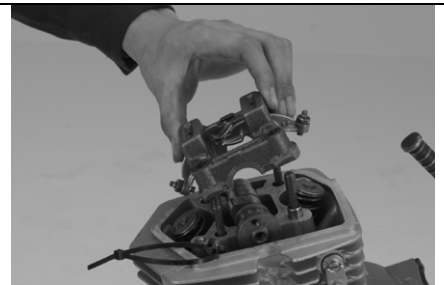
1 0	<p>クランクケース下側にジャッキ・当て木等を使用し、フロントエンジンハンガーをとめているボルト4本を緩めてください。</p> <p><b>注意</b> ジャッキ又は当て木を必ずご使用下さい。ボルトを抜いた際に、エンジンが下るため、大変危険です。</p>	
1 1	<p>後ろ側エンジンマウントのボルト・ナットを上下二箇所緩めます。ナットを緩めた後、上側のエンジンマウントボルトから抜きます。クラッチホルダー・カラーがボルトに固定されていますので、慎重に抜き取ってください。</p> <p>ボルトを抜くと、エンジンがフレームから外れます。</p>	
1 2	<p>ロックボルトを取り外し、セットプレートをズラシ、テンションアジャスターを取り外します。</p>	
1 3	<p>カムチェーンテンションアジャスターを取り外します。</p> <p>取り外す際は、ラジオペンチを使うと容易に取り外しが行えます。</p>	
1 4	<p>カムスプロケット取り付けボルトをはずします。取り付けボルトをはずす際にカムシャフトの供回り防止のため、フライホイールを固定して作業して下さい、シザースホルダーを使用します。</p>	
1 5	<p>カムスプロケットを手前に引き、取り外します。この時、カムチェーンが落ちないように注意してください。</p> <p><b>注意</b> カムチェーンが落ちないように、針金・タイラップ等で脱落しないようにして下さい。</p>	
1 6	<p>シリンダーヘッド・マウントボルトを緩め、取り外します。</p>	



- 17** カムシャフトホルダーを固定しているナットを対角線上で数回に分け回し、取り外します。



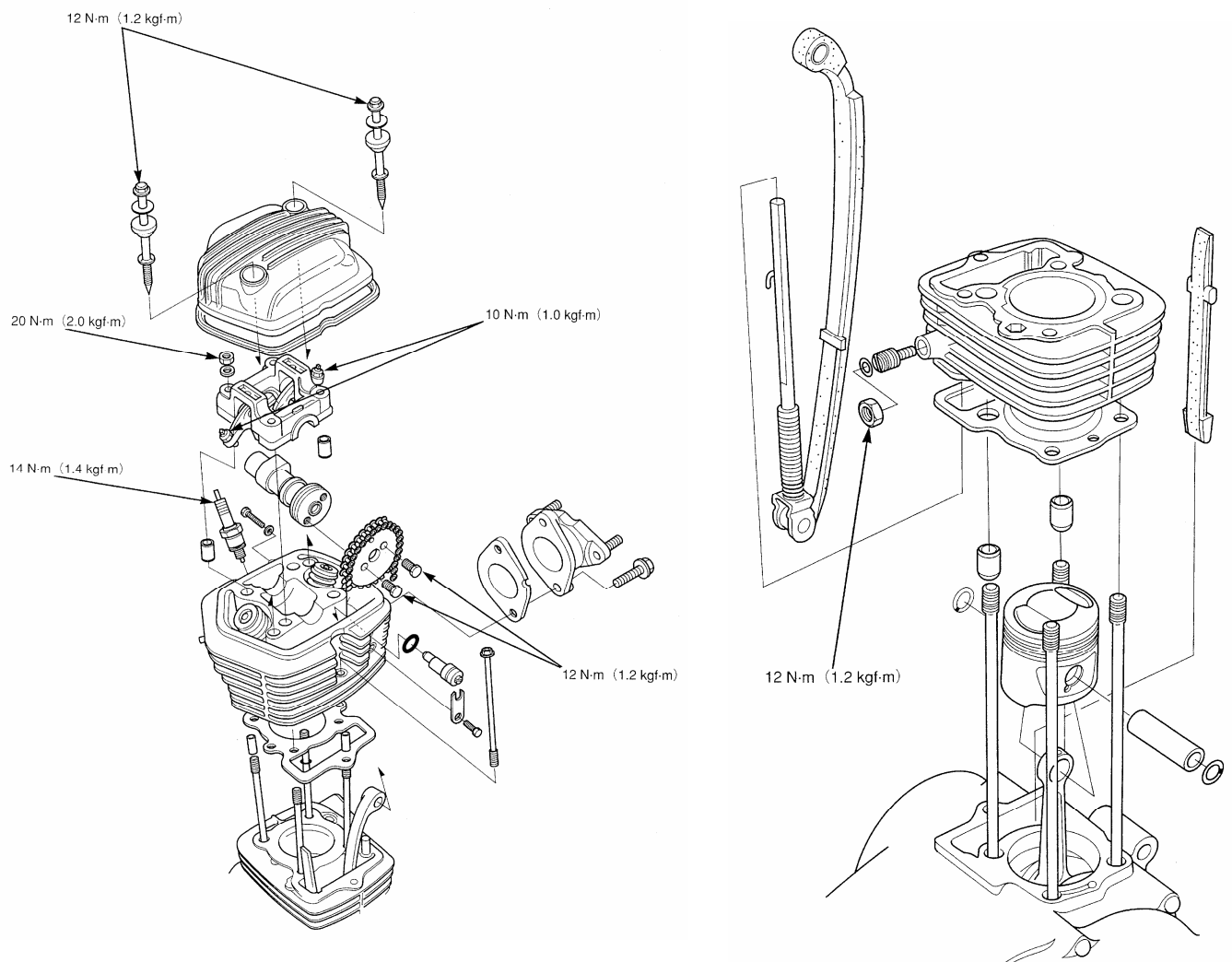
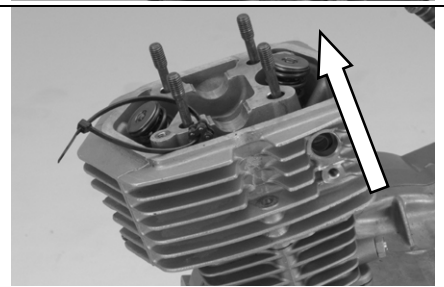
- 18** シリンダーヘッドから、カムシャフトホルダーを取り外します。



- 19** シリンダーヘッドから、カムシャフト・ノックピンをはずします。  
ノックピンは後で再利用します。

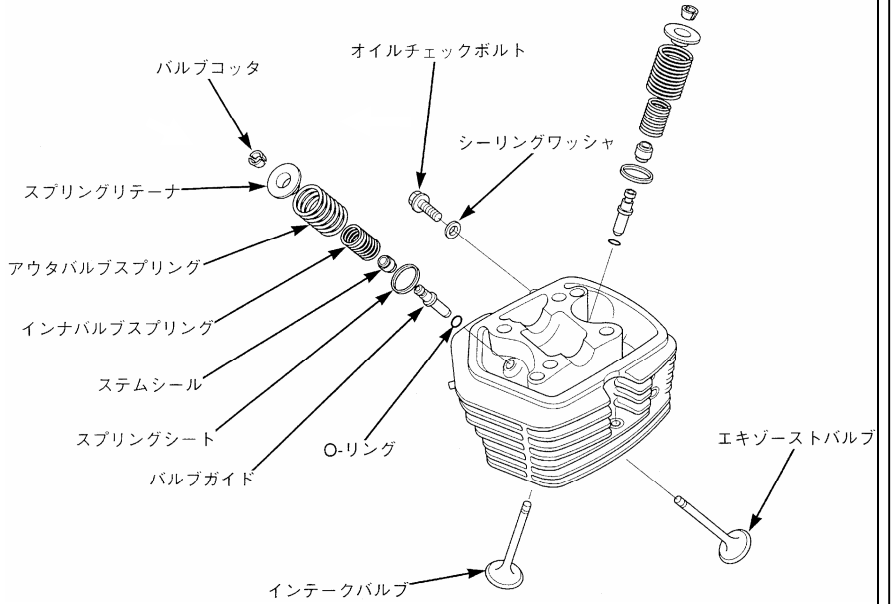
シリンダーヘッドを取り外してください。

ボアアップキット等を同時に組み込む場合は、シリンダーヘッドを取り外してから、ボアアップキット等の説明書に従い、組み付けをして下さい。



# バルブスプリングの組み付け

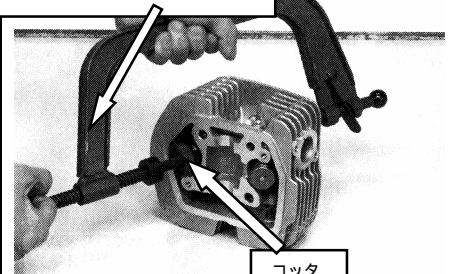
右図がシリンダーヘッドの分解図です、この図中のバルブスプリングを交換して下さい



20

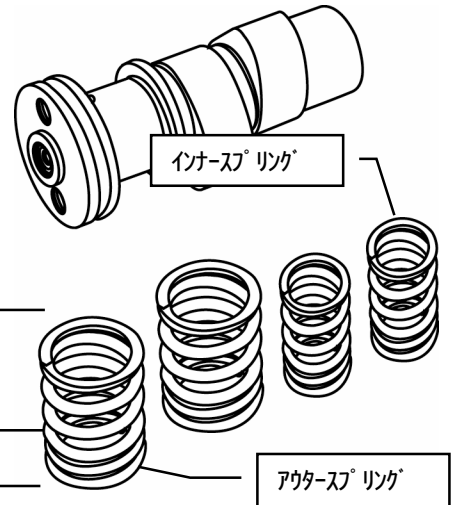
取外したシリンダーヘッドにバルブスプリングコンプレッサーを使用してバルブスプリングを交換します。バルブスプリングの交換ではバルブを取外す必要はありませんが走行距離が進んだ車輦ではバルブのクリーニング、ステムシールの交換等して下さい、詳細なサービスデータはAPEサービスマニュアル等を参考にして下さい。

バルブスプリングコンプレッサー



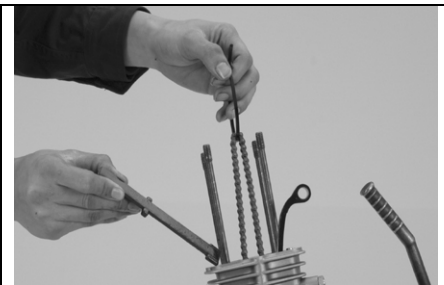
21

外径の大きなスプリングは アウタースプリング  
 外径の小さなスプリングは インナースプリングです、  
 (2段不等ピッチスプリングのため向き(上下)があります)  
 スプリングのピッチが密(狭いピッチ)な方を下側に向け純正のものと交換します。(スプリングシート類も純正のものを必ず使用して下さい)



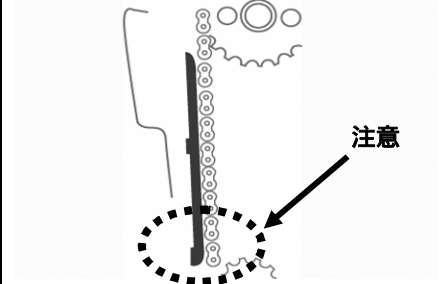
22


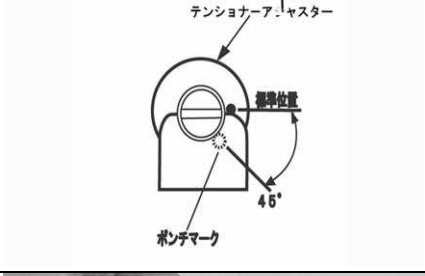
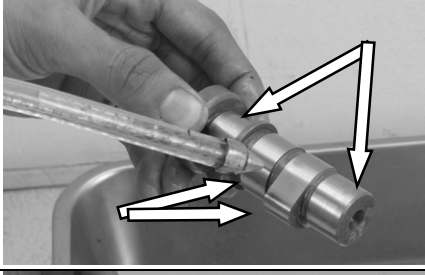
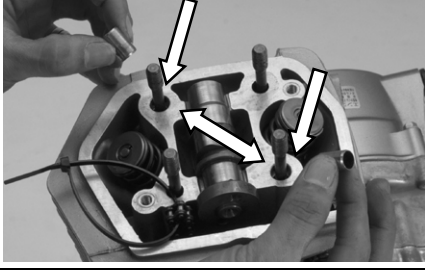
シリンダーヘッドを装着する前に、カムチェーンを引き上げて下さい  
 図のようにタイラップや針金等をカムチェーンを通し  
 カムチェーン引き出して下さい。  
 その後、カムチェーンガイドを組付けて下さい。

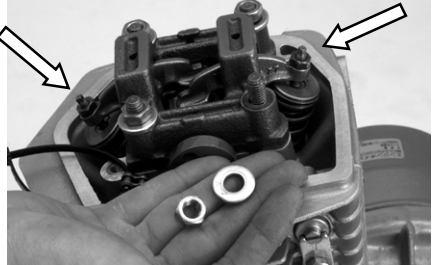

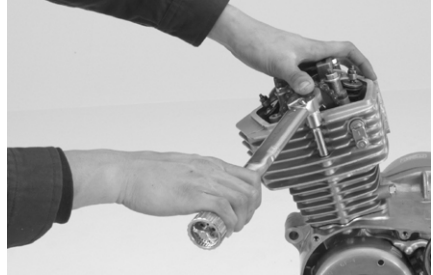
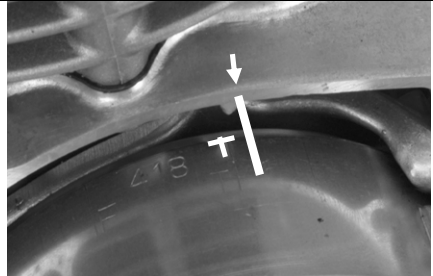
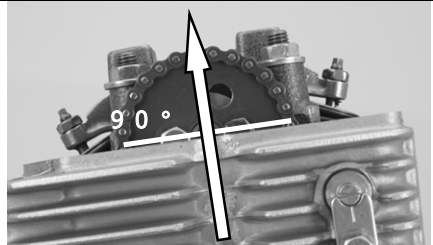
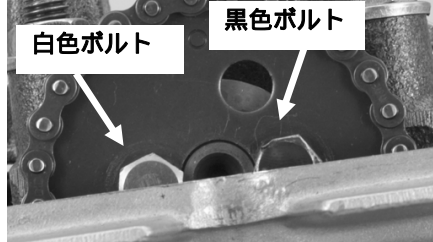



23

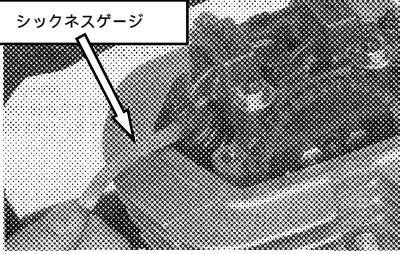
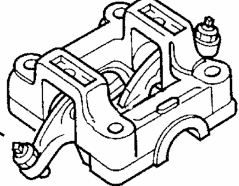

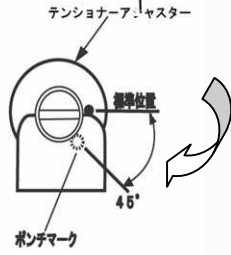
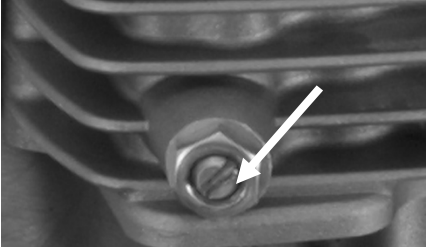
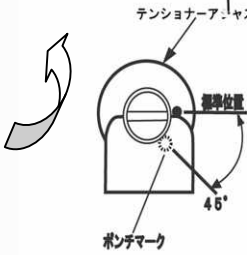
カムチェーンガイドは向きがありますので、方向を間違えずに組み込んで下さい。  
 \* シリンダーを取り外していない場合は問題有りません  
 シリンダーを抜いてしまった場合等は念のため再度確認して下さい。



24	<p>シリンダーに、ノックピン・シリンダーヘッドガasketを装着します。ノックピンの位置は、対角線上になりますので、間違えずに装着してください。シリンダーヘッドガasketがへたっている場合は新品に交換します。</p>	
25	<p>カムチェーンテンショナーは右図のようにシリンダー上面位置でセットしてください。シリンダーヘッドの装着の際、テンショナーアジャストボルトを装着す際の位置合わせが容易になります。</p>	
26	<p>カムチェーンを通し、シリンダーヘッドを装着します。</p>	
27	<p>シリンダーヘッドにテンショナーアジャストボルトを通し、テンショナーを固定します。セットプレートはまだ仮組みにしておきますので、ロックボルトは仮組みにしておいてください。</p>	
28	<p>テンショナーアジャスターのポンチマークは標準位置に設定してください。調整の範囲は45°有りますが、この状態では標準位置で、組み上げ後に調整します。</p>	
29	<p>カムシャフトのカム面・ジャーナル面にエンジンオイルを塗布してください。</p>	
30	<p>シリンダーヘッドにカムシャフトを装着します。装着時にカム山が下向きになるように装着してください。その後、ノックピンを対角線上に装着します。</p>	

<p>3 1</p>	<p>カムホルダーを装着しますが、ロッカーアームのタペットアジャストナット、スクリーンを緩めてください。(カムシャフトを交換しますので再度タペット調整が必要です。)</p> <p>カムホルダーを装着し、ナットワッシャー - を締めこみます。完全なナットの固定はせず、対角線上で数回に分け、ナットを締め付けて下さい。完全な締め付けには、トルクレンチを使用してください。</p>	
<p>3 2</p>	<p>トルクレンチを使用し、カムホルダーの締め付けを行って下さい。締め付ける場合は対角線で締め付けます。  <b>規定トルク</b> 2 . 0 K g f / m  【 2 0 N / m 】</p>	
<p>3 3</p>	<p>ヘッド装着後、仮留めをしていたシリンダーヘッド・マウントボルトをトルクレンチにて締め付けてください。  <b>規定トルク</b> 1 . 2 K g f / m  【 1 2 N / m 】</p>	
<p>3 4</p>	<p>フライホイールの“ T ”マークが、クランクケースの“ ”形状の出っ張りに合うようにセットしてください。</p>	
<p>3 5</p>	<p>カムスプロケットの“ ”印が上記の写真の様にシリンダーに対して垂直になる様に取り付けを行います。この時に、フライホイールの“ T ”マークがクランクケースの合いマークからずれていない事を確認してください。</p>	
<p>3 6</p>	<p>カムチェーン装着後、ボルト 2 本でカムスプロケットを固定してください。この時、I N 側に黒色のボルトを使用し、E X 側に白色のボルトを装着してください。最後の締め付けは、トルクレンチで締め付けを行ってください。</p>	
<p>3 7</p>	<p>締め付けは、トルクレンチで行ってください。締め付ける際にカムシャフトが回るため、外す時と同じ要領でフライホイールを固定し、締め付けを行ってください。  <b>規定トルク</b> 1 . 2 K g f / m  【 1 2 N / m 】</p>	



<p><b>3 8</b></p>	<p>バルブクリアランスの調整には、クランク左側のフライホイールのTマークとクランクケースの合わせマークを一致させます（この位置でピストンの上死点位置です）</p> <p>カムプロケットの“ ”マークがシリンダーヘッドの上面に対して、垂直になっているか確認します。ロッカーアームとバルブステムの間にシクネスゲージを入れバルブクリアランスを測定、調整します。（調整にはタペットアジャストレンチ等を使用して下さい、APE50の場合はモンキーと同じで四角のレンチが必要ですAPE100の場合はタペットアジャストスクリューがマイナスですので薄いマイナスドライバー等を利用して下さい。）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">       ここを調整して タペットクリアランスの調整をする     </div>	 
<p><b>3 9</b></p>	<p>シリンダーヘッドカバーを取りつけます。カバー・ガスケットを装着し、トルクレンチにて締め付けを行ってください。</p> <p><b>規定トルク</b> 1.2 Kg f / m 【 12 N / m】</p>	
<p><b>4 0</b></p>	<p>エンジンの車体への装着は、これまでの組付け手順の取り外しと逆の手順で行ってください。各部分の規定トルクは右記ようになります。</p>	<p><b>規定トルク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアエンジンマウント 4.5 Kg f / m 【 44 N / m】</li> <li>フロントエンジンマウント 2.7 Kg f / m 【 26 N / m】</li> <li>クランクケースカバー 1. Kg f / m 【 12 N / m】</li> <li>左ステップ 2.7 Kg f / m 【 26 N / m】</li> <li>タンク・シート 2.7 Kg f / m 【 26 N / m】</li> </ul>
<p><b>4 1</b></p>	<p>カムチェーンの調整を行います。</p> <p>エンジンを始動し、軽く暖気運転を行います。暖機運転終了後、エンジンを停止します。</p> <p>テンショナアジャスタを留めているセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置から45°の位置にずらし、ボルトを締め付けます。</p>	
<p><b>4 2</b></p>	<p>テンショナアジャストボルトロックナットを緩め、テンショナアジャストボルトを緩めます。アジャストボルトをゆるめる事により、スプリングの張力により、カムチェーンテンショナが自動調整されます。</p> <p>自動調整完了後、アジャストボルトが動かないように保持し、ロックナットを締め付けます。</p> <p><b>規定トルク</b> 1.2 Kg f / m 【 12 N / m】</p>	
<p><b>4 3</b></p>	<p>テンショナセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置まで戻します。その後、セットプレートボルトを締めつけてください。</p> <p>エンジンを始動し、カムチェーンの音が適正な音になっているか確認します。適正な音でない場合は、テンショナアジャスタを標準位置から45°の範囲で調整してください。</p>	

A P E 5 0 (参考データです)	M / J	S / J	備考
ノーマルキャブレター (キャブインシュレーター抜き) またはキャブインシュレーターの穴拡大加工等 + STDエアークリーナー	6 0 ( S T D ) ~ 6 5	3 5 ( S T D )	スロー関係を若干濃い目
ノーマルキャブレター (キャブインシュレーター抜き) またはキャブインシュレーターの穴拡大加工等 + パワーフィルター	6 0 ( S T D ) ~ 6 5	3 5 ( S T D )	スロー関係を若干濃い目
P C 2 0 キャブレター (品番 41995) + パワーフィルター + レーシングタイプマフラー等 + ハイカム	9 0 ~ 9 5	3 8	レーシングタイプマフラー ストレート構造 (排気口 3 5 以上)
A P E 1 0 0 (参考データです)	M / J	S / J	備考
ノーマルキャブレター (キャブインシュレーター抜き) またはキャブインシュレーターの穴拡大加工等 + STDエアークリーナー	7 2 ( S T D ) ~ 7 5	3 8 ( S T D )	
ノーマルキャブレター (キャブインシュレーター抜き) またはキャブインシュレーターの穴拡大加工等 + パワーフィルター	7 2 ( S T D ) ~ 7 5	3 8 ( S T D )	
P C 2 0 キャブレター (品番 46289) + パワーフィルター + レーシングタイプマフラー等 + ハイカム	9 2 ~ 9 5 ~ 9 8	3 8	レーシングタイプマフラー ストレート構造 (排気口 3 5 以上)

- \* A P E 5 0 / 1 0 0 は、純正キャブレターの口径が小さいため特に高回転域での性能が規制されます、P C 2 0 等のビックキャブレターに交換をお勧めします。
- \* A P E 5 0 / 1 0 0 共に、純正キャブレターのインシュレーターがキャブレター口径の半分程度になり性能や音量を規制しています、このインシュレーターを取外しただけの場合は、夏場にエンジンの熱がキャブレターに伝わり過ぎ、加熱しセッティングが不安定になったりしますので注意が必要です。  
キャブレター口径に合わせ拡大加工や、厚目のガスケットで対応して下さい。
- \* P C 2 0 の注意点、、、純正エアークリーナーボックスの位置をずらして(引っ張り込んで) P C 2 0 キャブと組み合わせることができますが、純正エアークリーナーボックス、フィルターの吸入抵抗が大きいためセッティングが不安定だったり高回転での性能が出ない場合があります、性能の良いフィルターに変更をお勧めします。
- \* カムハウジングのロッカーアームとの逃げの削り加工は必要ありません。( A P E 5 0 / 1 0 0 )
- \* バルブとピストンの隙間は通常の組み合わせであれば接触しない様に設定していますが  
当社製品以外との組み合わせや特殊な組み合わせによってはその隙間を必ず確認して下さい。
- \* カムシャフトのバルブタイミングですが、ピストントップ位置(クランクTマーク)とカムスプロケット マーク位置を、純正カムと同様に合わせ組み込みしていただければ特に角度を分度器等で合わせる必要はありません。

1. 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行って下さい。
2. 取り付けは確実に行って下さい。又、走行中ネジ部等緩む事のないように、規定トルクで確実に締め付けて下さい。
3. 取付後、約 1 0 0 k m 走行しましたら各部を点検し、ネジ部等の増し締めを行って下さい。
4. その後、約 5 0 0 k m ごとに必ず点検を行い、同様の増し締めを行って下さい。
5. 走行中異常が発生したと思われる場合は、直ちにバイクを安全な場所に停止し、異常箇所を検査して下さい。
6. この商品は、予告なしに仕様を変更する場合があります。又、文中で紹介してあります商品についても、予告なしに変更する場合があります。

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

\*この用紙は再生紙を使用しております。

デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955までお願い致します。